すぎのこ 150
2018 4/1
公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会
事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
飯能研修センター：〒357-0063 埼玉県飯能市飯能325-2 TEL.042-971-4121 FAX.042-971-4155
嬬恋研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡嬬恋村干俣 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1015

2面･3面　園からの声／新作「このつぎなあに」紹介　ほか
4面　制作だより／池袋いけいけ人形劇まつり予告／新人紹介／事務局だより／活動記録

http://www.suginoko.org/
E-mail: support@suginoko.org

巡回公演だより

おだんごぱん 班

七海　美流歌

三学期は「おだんごぱん」のおだんごぱん役で、四国地方を回っていました。

「おだんごぱん」の作品自体は約一年半前、すぎのこに入団してからずっと携わってきましたが、〝おだんごぱん〟の役を任されたのは去年の夏からです。

いろいろと手探りしながらも、長い二学期の間、場数を重ねることでだんだんと〝おだんごぱん〟という役に慣れていきました。そのおかげか三学期は、もっといろんなことに目を向けられるようになったと言えます。

たとえばそれは、歌唱指導の時子どもたちの反応を見られるようになったとか、おだんごぱんとしてどんな言葉を掛ければ子どもたちが喜ぶのかとか、子どもと接するに当たってどんな態度を取ればいいのかなどといったことです。

そうやって様々なことに神経を研ぎ澄ませていくうちに、自分が心からこの作品を好きになったことに気付きました。この作品が好きで、この役が好きで、もっと自ら舞台を楽しみ、その一瞬一瞬を全力で一生懸命に向き合っていけるようになりました。ずっと心の奥で思っていた、観てくれる子どもたちも先生方も保護者の方も楽しんでもらいたいという気持ちを、しっかりと噛み締めながら舞台に立てるようになりました。

今この時間が、お芝居をしている私にとっても、観ている人たちにとっても、最高の時になれるように日々頑張っていきたいと思います。このことを気付かせてくれた子どもたちに感謝しています。いつも子どもたちからいろんなものを学ばせて貰っている気がします。子どもたちのキラキラとした瞳を見ていると、守ってあげたいという気持ちや、もっと頑張れそうな気持ちが湧き上がってくるからとても不思議です。

「いつもありがとう。お姉さん、おかげ様で今日も明日も頑張れそうだよ」と、言葉には表現しきれないその気持ちを胸に、この先もまた子どもたちと向き合っていきたいと思います。

三まいのおふだ 班

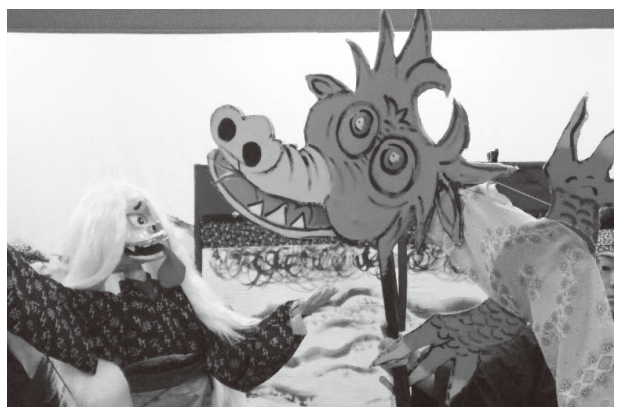
星野　翼

去年の4月から新作として始まった「三まいのおふだ」という作品も、上演初日から一年が経ちました。

たくさんの子どもたちに会い、たくさんの反応を見てきました。どの地域の子どもたちも満面の笑顔で接してくれて、真剣にお話を観て、聴いてくれているのを舞台の上から感じ、私たちもとても楽しく上演できました。先生方にもとてもよくしていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

「三まいのおふだ」を観てくださった皆様、本当にありがとうございました。

先生方や子どもたちからいただいた感想や反応を聞き、演出家、脚本家、そして私たち人形劇俳優みんなで作ってきた「三まいのおふだ」のお話も、4月の初めの頃より、少しずつ進化してきていると感じます。



まだまだこの作品は続きます。この先、新しい発見や反省を繰り返してどんどん良くなっていくかと思うと、とてもワクワクします。これからも気を抜かず精進してまいりますので、「三まいのおふだ」をよろしくお願いいたします。

ももたろう 班

齋藤　裕太

「ももたろう」で主役を演じています。昨年の9月から12月まで九州地方、年が明けて1月中旬から関東地方を中心に巡回をしました。

終えての感想ですが、やはり日本全国子どもから大人まで誰もが知っている桃太郎の作品ということもありまして、保育園、幼稚園の子どもたちと先生や保護者の皆様から嬉しい評価をいただきました。桃太郎の劇に携わっている俳優を代表して、心から「ありがとうございました」と、お礼と感謝の言葉を申し上げます。そして主役である私を支えてくださる、厳しくもあり優しくもある先輩方にも、心から「ありがとうございました」と感謝の意を表します。

まだまだ未熟な私ですが、これからも観劇される皆様に心行くまで楽しんでいただき、「もう一度観たい」と言っていただける劇を演じていけるように、日々愛を持って全力を尽くして演じていきたいです。

最後になりますが、本年度は「誠心誠意」を目標に日々精進していく所存でございます。よろしくお願いいたします。

そっくりのくりのき班

榎本　均

「そっくりのくりのき」は、この春で四年間の全国一周の旅を終えました。

私は、ずっとこの作品と共に歩んできました。「命のつながり」という明確なテーマがありましたから、枝葉のような紆余曲折はあったものの、根幹に向かって一気に進んで、あっという間に過ぎました。

子どもたちの声援、笑い、涙が交差した反応は、言葉にするなら「不思議」ということが言えるかもしれません。「そっくりのくりのき」という題名も、原作者のやなせたかしさんのユーモアと洒落っ気も、不思議な感じです。

「そっくり」ということは、もちろん「同じ」じゃないこと。一人ひとりは全く違うということ。くりのきのおじいさんと子ギツネのコンちゃんのそれぞれの命は、決して誰のものではない。だからこそ、今ここにいて今を生きることのつながり、認め合いを求めていく。

春になってタンポポが一輪咲くと、子どもたちは驚きと不思議な目でじっと見ていました。そして、私たち俳優も子どもの目を通して「きれいだなぁ」と自然の美しさを、不思議さを一緒に見ていました。

「そっくりのくりのき」は、たくさんの仲間に支えられゴールしました。でも、ひとつの作品は終わっても、次の新しい作品が生まれる。子どもたちと共に新たな旅立ちなのです。

き、充実した時間を過ごすことができました。九州でお世話になった先生方、ありがとうございました！

いつも思うのですが、どの地域でも、先生方や保護者のお子さんたちへの想いは、ただ一つ「これから大きくなっていくこの子たちが、幸せな人生を送ってほしい」ということ。そのために、それぞれの立場で真摯に子どもたちと向かい合っておられる。私たち人形劇を届けるものは何をすべきか？

今年度も先生方、保護者、劇団員やいろいろな方々とできるだけたくさんのことを話し、その答えを出し、作品創りをしたい。そして今、この春を迎えられた喜びを忘れず、この仕事を精一杯やっていこう。

そう思っています。

ほんわか劇場

わだ　よりこ

今年も春がおとずれました。もう何十年もこの季節を迎えていますが、新しいことが始まるウキキ感と不安感とが入り混じったこの季節が、私は大好きです。

昨年度ほんわか劇場は、秋に九州公演がありました。旅先でしか味わえない色々なことを経験で

園から の声

そっくりのくりのき

■沖縄県うるま市の保育園

命のつながりを子どもたちも感じてくれたのではないかなと思いました。「先生、涙が出ちゃった」と言う声が子どもたちからありました。最初から最後までお話を食い入るように見ていた子どもたちです。心に残るお話でした。

■熊本ＹＭＣＡ永草保育園（熊本県阿蘇市）

・やなせたかしさんの思い、メッセージが強い作品でした。

・リズミカル、メルヘンチックに演じられて、引き込まれました。

・満1才の園児もまばたきしないでしっかり見入っていたことに感動しました。メッセージ性の高い、でも笑いありで楽しい時間を過ごしました。

おだんごぱん

■中島保育園（広島県広島市）

「おだんごぱん」は、子どもたちの大好きな絵本の一冊で、その歌を喜んで練習し、当日を心待ちにしていました。歌だけでなく、手遊びも教えていただき、またひとつ、楽しめる遊びが増えました。

会場への入退場の時にタッチをしたりして触れ合いがあり、子どもたちはとても喜んでいました。

■高瀬幼稚園（香川県三豊市）

音響、セリフ、場面転換など、三人の息がぴったりで、すばらしかったです。子どもたちも大笑いしたり、食い入るように観たり、とても楽しく観劇できました。

観劇後には「面白かったー！」と言ったり、おだんごぱんの歌を口ずさんだりしていました。

■祇園幼稚園（広島県広島市）

三人の劇団員の方の個性が光っていて、とても面白かったです。大笑いさせてもらいました。劇の内容も幼児に適していて、子どもたちも喜んで観ていました。

おだんごぱんの動きや表情は愛らしく、すっかり感情移入した子どもたちは、保育室にもどったあと、「ちいさいけれど、ちいさいけれど♪」と歌ったり、「最後にきつねに食べられたときに泣きそうになったね」と感想を言い合ったりしていました。

大道具も、色や角度をくるりと置き換えただけでその場面を効果的に表現されていたので、勉強になりました。

三まいのおふだ

■しらさぎ保育園（大阪府堺市）

日本の昔話をしてほしかったので、今回久しぶりにすぎのこさんに上演をお願いしました。演者の俳優さんの演技力のクオリティが高く、子どもたちも大人も引き込まれ楽しませていただきました。

私も小さいときに学校で見た人形劇の感動を今でも覚えているので、子どもたちにも直接感動をもらえる場として、これからも生の舞台を見せ続けていきたいと思います。

どうか、すぎのこさんもずっと巡回をやめないで続けてください。そして、若い人たちにも演技力を期待します。

■片男波こども園（和歌山県和歌山市）

・背景の移り変わりが見ていてわかりやすく、次の場面をイメージさせるので興味が持てる。

・人形の扱い方、話し方に引き込まれ、物語の世界に入っていける。

・怖いイメージのやまんばが、茶目っ気のあるシーンにより、笑いを誘い、楽しめた。

・アイデアがとてもよかった。（相撲・龍・火・お札・もみじなど）

・もみじで物語の終わりを告げるシーンが印象的だった。

■あさひ保育園（鹿児島県薩摩川内市）

まずいらした時、お二人の素敵な笑顔の挨拶に私たちも安心感に包まれました。

作品の内容も、セットの仕方も、毎年素晴らしいと思います。細部にまで、楽しませ方や安全面を工夫されており、感心させられます。今年も夢のような楽しい時間をありがとうございました。

ももたろう

■沼上保育園（静岡県静岡市）

・物語の中で、友達を大切にする心、子どもを育てている人の心などが丁寧に描かれていた。

・鬼が出てきたが、子どもが怖がるような作りではないので、集中できてよかった。

・声のトーンを変えたり、演じている人が見えたり、子どもが興味をもててよかった。

・最後には忙しい中、タッチをしにもどってきてくれたり、とても子どもたちが喜んでいた。

■認定みどりこども園（栃木県宇都宮市）

ももたろうの物語はしっかりとあるなかで、キャラクターの個性やユーモアがあったりしたので、小さい年齢からでも楽しめた。

司会進行、装置の移動など、細かいところまで子どもが楽しめた。

子どもたちは物語に引き込まれていて、終わった後も「面白かった！」という声がたくさん聞かれた。昔話に触れる機会にもなったので、とてもよかった

もぐもぐ劇場（首都圏班）

■八日市場保育所（千葉県匝瑳市）

劇団によって様々な特徴がありますが、今回の「すぎのこ」さんの作品は、演技者のパフォーマンスが生かされたもので、子どもた

もぐもぐ劇場

後藤　絢子

年が明け、早3ヵ月が過ぎ、卒園・入園と忙しく過ごしていらっしゃる方も多いかと思います。私も入団して9ヵ月が過ぎ、ようやく慣れてきたところです。

私たち、もぐもぐ劇場（首都圏班）では、「三匹のこぶた」「かもとりごんべえ」「ねずみの嫁入り」を主な演目として活動しています。そのうちの二作品を紹介させていただきます。

初めに「三匹のこぶた」です。この作品は紙芝居に様々な仕掛けがあり、まるで絵本の世界にいるような作りになっているので、子どもたちにとても人気があります。子どもたちにも参加してもらいながら話を進めていくので、オオカミが怖いと泣く子も少ないのです。（逆に楽しすぎて途中で立ち上がってしまう子がいるほどです）

次に「かもとりごんべえ」は、人形劇ですが、前半は私たち俳優が〝ごんべえさん〟のメイクをして登場します。これも子どもたちが参加できる作品となっているので、途中で飽きてしまう子は少ないです。（どう参加するのかは観てのお楽しみです）

長々と紹介してきましたが、やはり実際に観て楽しんでいただけたらとても嬉しいので、皆さまとお逢いし、たくさんの子どもたちの笑顔が見られるよう、心よりお待ちしております。

平成30年度　新作「このつぎなあに」

◆原作：山中恒「このつぎなあに」（株式会社あかね書房刊）
◆脚本：浅野茜子
◆演出：川端清
◆人形・美術：アトリエ〝ドッポ〟
◆音楽：横山太郎
◆音響効果：和田光昭
◆制作：福島亜紀

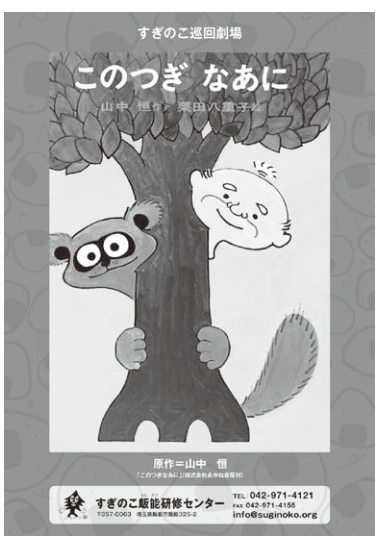
「このつぎなあに」は、一九六九年の初版以来、多くの人々に読み親しまれている、山中恒さんの同名絵本が原作です。すぎのこでは、一九七九年に人形劇「このつぎなあに」を制作し、これまでに幾度か上演してまいりました。

ほのぼのとした世界観の中で表現される優しさや思いやりの心、そして淋しさ。ひとりぼっちのおじいさんと、化けるのが下手なたぬきとの交流を描いたストーリーは、初版から半世紀が経とうとしている現代の私たちの心にも、色褪せることのない普遍的なメッセージとして響いてきます。

また初演時には、劇団を旗揚げし、当時代表をしていた小澤明が脚本を担当していました。本作はすぎのこにとって思い入れのある作品の一つであり、大切にしていきたい作品でもあります。

今回、新たに脚本を浅野茜子に依頼し、人形・美術をリニューアルした、新生「このつぎなあに」をお届けします。初演時の作品への想いはそのままに、更に芸術性豊かな作品として制作してまいります。これから四年をかけて全国を巡回いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（福島　亜紀）



ほんわか劇場

■上井草保育園父母会　本多様（東京都杉並区）

本日は素敵な時間を過ごさせていただきありがとうございました。

子どもたちも歌を歌ったり、柿拾いを手伝ったりと劇に参加し、とても楽しんでおりました。私たち大人も話に聞き入ってしまい、あっという間の時間でした。

とてもお二人でなさっていたとは思えない舞台回しに驚くばかりでした！　子どもたちもおならの歌が気に入ったようで「プッププ」と口ずさんでいます。（笑）

来年は上井草保育園は民営化となり開催できるかどうかわかりませんが、お声が掛かりましたらぜひ、またお越しいただき素敵な人形劇をお願いしたいと思います。

本日は本当にありがとうございました。お会いできてとても嬉しかったです。

ちはわからない言葉があっても、日本の昔ながらの独得なリズムや節まわしの歌や雰囲気を楽しむことができたし、大人も十分に楽しめた作品でした。

■舟戸幼稚園（埼玉県川口市）

劇団の方々の声がとても素敵で、メリハリのある話し方が印象的でした。子どもたちも楽しそうに聞いていました。最後に人形とハイタッチをしてお別れできたのが嬉しかったようです。

賛助会員を募集しています！

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々に、当財団の活動を側面から支援していただくものです。入会された方には、会員証と共に入会の証しとしてアンパンマンでおなじみのやなせたかし先生がデザインした、すぎのこ「すくすく」バッジ（写真）をお贈りいたします。

すくすくゴールド

1. 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
2. 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
   (1) 賛助会費を納める「会費制賛助会員」
   個人　年額　3，000円　以上
   団体　年額　10，000円　以上
   (2) 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」
   個人　年間　3日間以上
   団体　年間　5日間以上
3. 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費（技能提供予定書）を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならない。
4. 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
5. 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
6. 会費制賛助会員が二年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が二年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
7. 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
8. 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
9. 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
10. 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
11. 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
12. 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
13. この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

制作だより

新入園・新入学おめでとうございます。新年度になり、皆さま忙しくお過ごしのことと思います。そこで、ゆっくりと時間を過ごしたいな…と思っているそんな方にご提案です♪

4月29日（日曜日・昭和の日）に、無料の人形劇観劇会を行います！

新作「このつぎなあに」に加えて、「三まいのおふだ」「ももたろう」「おだんごぱん」の計4作品を上演いたします。

昨年は、埼玉県内及び近隣の東京都や神奈川県のみならず、山梨県から来てくださった方々もいらっしゃいました。忙しい時期にも関わらず、いつもご来場いただいているお客様に、心より感謝申し上げます。

場所は、劇団すぎのこ飯能研修センター。池袋駅から西武線急行飯能行きで約50分の飯能駅下車、またはJR八王子駅から八高線川越行きで約30分の東飯能駅下車、それぞれ駅からバスで10分ほどの場所にございます。

もし当日迷いましたら、042－971－4121までお電話ください。ささやかながら無料のお飲み物やお菓子をご用意してお待ちしております。4月の最後の3連休の中日に、ぜひいらしてください♪

（福島　亜紀）

予告 第31回 池袋いけいけ人形劇まつり

5月4日（金・祝）南大塚地域文化創造館

今年も私たちは、いけいけ人形劇まつりに参加をさせていただきます。今年は、日本昔話の定番でもある「ももたろう」の作品での参加となりました。

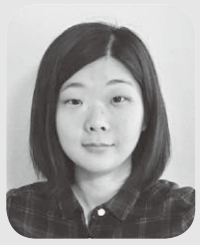
本来は池袋で行われていたイベントではありますが、去年と今年は大塚での開催となります。いつもとは違う地域での開催なので、地元の方々の様々な協力の下でこのイベントは行われていますが、そのおかげで池袋とはまた違う盛り上がり方で、参加しながらもほどよい緊張感と高揚感を持ちながら、去年は過ごさせていただきました。

参加している団体も人形劇だけではなく、パネルシアター・腹話術・ダンス等、様々な催し物が見られます。役者も長いことしているベテランの方もいれば、大学のサークルの若い人たちもいて、どの芝居もそれぞれに色があり、一日いても飽きることなく楽しく過ごせるイベントになっていると思います。

ぜひ皆さまのご参加、お待ちしております！

（太田　令）

新人紹介



横山　美歩

昨年12月に入団しました。

学生時代に舞台芸術を学び、子どもたちのための演劇作りをしたいと思い、人形劇の世界に入りました。

人形劇については、まだまだ学ぶことがたくさんありますが、楽しい人形劇が届けられるように頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

事務局だより 62

研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会（現財団法人ＪＫＡ）の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ嬬恋研修センター」、埼玉県に日本宝くじ協会の助成により建設された「すぎのこ飯能研修センター（ドリーム館）」があります。

いずれの施設も緑ゆたかな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地し、音楽や演劇等の芸術文化活動や公益活動にお貸ししています。

合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。（利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません）

嬬恋村にある「すぎのこ嬬恋研修センター」近くには、海抜１２４０m、周囲２㎞に及ぶバラキ湖をはじめ、近隣に日帰り温泉施設「湖畔の湯」やバラキ高原嬬恋スキー場等が点在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご活用いただける他、敷地内にはテントサイト（シャワー室・トイレ完備の専用洗面棟併設）や雨天でもバーベキューが楽しめる集会棟、アスレチック広場等が整備され、日本キャンプ協会の優良キャンプ場として認定されています。

飯能研修センター

埼玉県飯能市にある「すぎのこ飯能研修センター」は、都心から電車で約一時間程度の場所にありながら閑静で落ち着いた環境に恵まれ、１３５㎡の多目的フロアの他、和洋研修室を完備しており、研修会や芸術文化活動に広くご利用いただける施設です。また、周辺には飯能の観光スポットとして有名な「天覧山」や「飯能河原」等も徒歩圏内にありますので、利用がてら、ぜひ散策してみてはいかがでしょうか。

嬬恋研修センター

各施設の利用可能な期間や時間等、詳細につきましてはお問い合わせください。

皆様のご利用を心よりお待ちしております。

嬬恋研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/support@suginoko.org
または03-3984-2396
（事務局）

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org
または042-971-4121
（創造部）

劇団研究生を募集しています

すぎのこでは、子どもたちにナマの舞台の感動を届ける仲間（劇団研究生・人形劇俳優）を募集しています。全国の幼稚園・保育園や各種イベント会場・劇場などで人形劇の公演活動を通じ、たくさんの笑顔に出会えることがこの仕事の魅力です。巡回公演が中心ですので、長期間の出張が可能な方、子ども好き、旅好きの方で興味を持たれた方はぜひ、私たちの活動に参加してみませんか。尚、未経験の方は研修・指導を行います。

活動内容や条件等、詳しくは左記へ連絡ください。

E-mail/info@suginoko.org
または042-971-4121
（飯能研修センター）

活動記録（平成30年1月～3月）

1／9　第三学期全国巡回公演開始
2／13　第13回定例理事会
於・当公益財団事務所
2／28　第2回臨時評議員会
於・当公益財団事務所
3／4　発声講習会開催
於・げんき保育園（香川県高松市）
3／12　平成30年度事業計画書並びに収支予算書を内閣府に提出
3／20　第三学期全国巡回公演終了